

関西学院大学 研究成果報告

2018年5月31日

関西学院大学 学長殿

所属：社会学部
職名：教授
氏名：奥野卓司

以下のとおり、報告いたします。

研究制度	<input checked="" type="checkbox"/> 特別研究期間 <input type="checkbox"/> 自由研究期間 <input type="checkbox"/> 大学共同研究 <input type="checkbox"/> 個人特別研究費 <input type="checkbox"/> 博士研究員 ※国際共同研究交通費補助については別様式にて作成してください。
研究課題	日本の生き物（とくに鳥）に関する、近世以降のメディア表象についての実証的国際比較研究
研究実施場所	公益財団法人山階鳥類研究所及び関西学院大学先端社会研究所
研究期間	2017年 4月 1日 ～ 2018年 3月 31日（12ヶ月）

◆ 研究成果概要（2,500字程度）

上記研究課題に即して実施したことを具体的に記述してください。

- 山階鳥類研究所に出向し、同研究所及び東大博物館が所蔵する近世以降の生き物（とくに鳥）に関する史料、絵画を研究解説した。それらの専門家との「共同研究」をおこなった。
- これによって近世以降のメディア（絵巻物、花鳥画、歌舞伎から今日のマンガ、アニメ、映像まで）に表象されてきている生き物（特に鳥、鶏）と日本人のかかわり、自然観を海外（とくに、他の東アジア諸文化）のそれと比較することにより、解説した。その結果を、2017年中にまとめ、大学からの刊行補助がいただけたには2018年度中に単行本として刊行する予定である。また、国際的な学会で発表する。

他の成果報告は以下のように行いました。

- 2018年4月1日 平成30年度文科省科学研究費補助金（奨励研究）採択
日本最大の鳥学関連資料群の維持管理・拡充・公開に関する研究事業
（総括班代表者）¥168,000,000
- 2017年8月26日 一般社団法人 日本カレンダー暦文化振興協会
第7回定時総会 パネルディスカッション
「季節とこよみ」
コーディネーター 中牧弘允

パネリスト 佐野みどり 奥野卓司

- ・ 2017年10月26日 第72回「国連デー記念午餐会」
「鳥の文化史—鳥をめぐる日本文化—」
(於 帝国ホテル大阪22階「ペガサス」)
- ・ 2017年11月4日～5日
ジャパンボードフェスティバル2017「人と鳥の共存をめざして」
実行委員長 (於 我孫子～アビスタ～手賀沼親水広場)
- ・ 2017年12月1日 ビオヒストリー 生き物文化誌学会
「花鳥画」と「植物画」の皮膜で—若冲の鶏をめぐる—
(vol.28 P14～20) 誠文堂新光社)
- ・ 2018年2月
関西学院広報「KGTODAY」(No.298 P11)
- ・ 2018年3月3日
ヒトと動物の関係学会 HARS 第24回学術大会
シンポジウム「鳥と人間の関係と課題」
座長 奥野卓司 細川博昭 鶴見みや古
(於 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎)
- ・ 2018年3月
ヒトと動物の関係学会誌 vol.49
第24回学術大会予稿集 シンポジウム「鳥と人間の関係と課題」
「あなた、鳥のなんなのさ・・・日本人と鳥の関係をめぐって」
- ・ 2018年12月(予定) 大学出版助成金が採択された場合
単著『鳥と人間の文化誌』(刊行予定) 筑摩書房

以上

提出期限：研究期間終了後2ヶ月以内

※個人特別研究費：研究費支給年度終了後2ヶ月以内 博士研究員：期間終了まで

提出先：研究推進社会連携機構（NUC）

※特別研究期間、自由研究期間の報告は所属長、博士研究員は研究科委員長を経て提出してください。

◆研究成果概要は、大学ホームページにて公開します。研究遂行上大学ホームページでの公開に支障がある場合は研究推進社会連携機構までご連絡ください。